

令和6年度 第2回 健康横浜21推進会議 議事録	
日 時	令和7年3月25日（火）18時30分～20時30分
開催場所	横浜市役所 みなと1・2・3会議室
出席者	健康横浜21推進会議 委員 18人
欠席者	健康横浜21推進会議 委員 2人
開催形態	公開（傍聴者無し）
議 題	1 開 会 2 あいさつ 3 新委員紹介 4 議事 （1）「第3期健康横浜21」主要な健康課題（中間目標）ごとのロジックモデルの作成について （2）「第3期健康横浜21」直接成果指標（ヒートショック関連）の一部修正について （3）健康横浜21推進会議及び部会の開催回数の見直しについて （4）第3期健康横浜21における令和6年度関係機関・団体の取組について 5 報告事項 （1）イベント 横浜市×横浜市立大学 「Wellness Port YOKOHAMA ～第3期健康横浜21いざ出航～」について （2）令和6年度歯科口腔保健推進検討部会の開催状況について （3）食育推進検討部会の開催状況及び食環境づくりに関する取組について （4）女性の健康づくり推進検討部会の設置について （5）令和6年度における健康経営の推進について （6）禁煙支援・受動喫煙防止対策事業について （7）令和6年度 広報・プロモーションの取組について
新委員紹介	名簿3番目 株式会社テレビ神奈川 伊藤委員 名簿4番目 全国健康保険協会 神奈川支部 太田委員 名簿17番目 横浜市PTA連絡協議会 松本委員
議 事	【議事1】「第3期健康横浜21」主要な健康課題（中間目標）ごとのロジックモデルの作成について 資料3 （水谷会長） 冊子の内容を見やすくなるようにロジックモデルを使って示したものであり、実際に使ってみるとわかってくるのだろう。各機関が得意とするもの、関わりのあるところを市の施策に落とし込み、協力していけるとよいという趣旨ではないか。 意見、質問はあるか。 （田口委員）

	どの自治体もロジックモデルを使いながら施策をたてている。横浜市は先進的に取り組んでいる。体系立てて施策をたてている自治体は少ない。ただし、どう使いこなしていくかが難しいところであるため、皆と理解を深めたい。 このロジックモデルは活動するときに羅針盤のようなものかと理解している、どのようにしたらゴールにたどりつくか、左から右に道筋が書かれているものと理解している。どこに着目して使っていくか、「喫煙・受動喫煙の減少」を例に具体的に説明いただきたい。 （事務局） 主に中間評価時に使用するものとしている。例年アウトプット指標は捉えていくかが、中間成果は5年後の中間評価で捉えていく。取組がどうであったかを捉え、評価がよいものであれば取組を継続してよいのではないかと、ただし思わしくない評価のときは、次のアクションをどうしていくかの検討材料とする。行政の要素だけでなく、全体を捉えてどの要素に力を入れていけばよいのかを表で示し、皆様と考えていきたい。 （田口委員） 評価について理解ができた。評価がまだわからないときに、団体としてどのように活用すればよいか。取組をみて、自分の団体であればどこに関わるのかを考えてみるということなのか。 （事務局） 取組がどこに位置付けられているのか、別の主要な健康課題にも喫煙が出てくるが、どの健康課題に結び付くのか、ということをつまみながら取組が進められるとよい。 （田口委員） 具体的なイメージができた。 （水谷会長） 評価の時期に、アウトカムがでる。国民生活基礎調査や健康寿命の算出の調査結果が、横浜市の願っている方向に行っているとよい。データを収集しながら微調整していきたい。各団体の取組発表の際に、どのようにつながっていけるのかを議論を進められるとよい。
【議事2】「第3期健康横浜21」直接成果指標（ヒートショック関連）の一部修正について 資料4	
	（水谷会長） 御意見、御質問について、御発言いただきたい。 誤った集計方法となってしまったことは、エビデンスを作っていく上では仕方ないのかと思う。結果からヒートショックを知っている人が多い人がわかる。項目毎に数値が今後あがってくるのかをみていけるとよい。 何年後かに同じアンケートを行うことに意味がある。ポスター掲示をしていることの効果をみていき、最終的には不慮の事故を少しでも減る方向になることをみていけるとよい。今後のことにつなげていくということで、皆様の意見としてまとめさ

	せていただく。
	【議事 3】健康横浜 2 1 推進会議及び部会の開催回数の見直しについて 資料 5
	(水谷会長) 御意見、御質問について各団体より、御発言いただきたい。 (一同) なし。 (水谷会長) 健康のことについて考える仲間づくりという意味では、知り合いになる機会があることはよいが、メール等で情報を交換し、必要な際には市から直接個々の相談、他との連携の提案があれば声をかけるという趣旨であると理解させていただく。
	【議事 4】第 3 期健康横浜 2 1 における令和 6 年度関係機関・団体の取組について 資料 6
	(水谷会長) 御意見、御質問について各団体より、御発言いただきたい。私も関係機関・団体の一員として発言するため、この議事は田口副会長に進行をお願いする。 (田口副会長) 【資料 6】を参考にしながら、1～2 分で御発言をお願いしたい。どこか連携できることはないかという視点でも御発言をお願いしたい。 (千葉委員) 過重労働による健康障害の防止、長時間労働の抑制に向けての指導を行っている。去年は 53 事業所に監督指導を行った。また産業保健活動・メンタルヘルス対策を行っている。次年度も継続予定である。転倒災害について説明会を行っている。定期健康診断の項目（特に女性）を増やす方向である。 50 名以上の事業所対象であったメンタルヘルスチェックについて、50 名未満の事業所で行っていただくことを検討している。 (吉田委員) ハマの元気ごはんの提供登録店舗として、何件か登録している。アルコールについては、引き続き 20 歳以上の飲酒を周知していく。 (小野委員) 6 項目あるがその中で、「健康意識向上ステップアップ運動」について御説明申し上げたい。令和 4 年度から青壮年部（主に男性）、わかば会（若い女性）、作物別部会を対象に、健康意識を高めることを目的に、生活習慣病検診を 1,000 円で受けられるよう、JA で助成している。 令和 7 年度は、ターゲットの範囲を広げ、受診率をあげるために女性部および資産保全部に対して運動を展開していく。このような取り組みを行う理由として、農業従事者は年々減少傾向にある中、後継者の問題や農作業事故、農薬事故等によりで年間 200～300 名が亡くなっている現状がある。この運動は、JA 横浜として独自に行

	っている取組である。 (蟹澤委員) 地域での健康づくりの推進を行っている。赤ちゃん教室から元気づくりステーションなど様々な年代に関わっている。各区において、健康チェック、オーラルフレイルの予防などを行っている。医師会、歯科医師会、スポーツ協会の方々にもご協力いただいている。暮らしの備えについて、研修を行っている。次年度も活動を継続していく予定である。 (米山委員) 各区栄養士から運動・食事等の研修を受け、愛称ヘルスメイトとして活動している。1日3食バランスよく食べる、適正体重を維持することを行動目標に、食育啓発活動を行っている。災害時やコロナ等の感染拡大時に、もしもの健康リスクを備えるためにローリングストックの啓発を行っている。次年度も同じような活動を続けていく予定である。 (長谷川由希委員) 定期的な発信としては、毎週火曜日に生活面で多種多様なテーマを取り上げている。本日の発信テーマは、こどもの近視予防を取り上げている。サブテーマで、足のトラブル等の内容を掲載している。毎年9月がん征圧キャンペーンに、がん予防の啓発の特集を行っている。専門家による座談会形式、インタビュー形式となっている。定期的に発信することで、自らの健康に気をつけていただけるとよい。 (伊藤委員) ニュースリンクの特集で、5/2 2025年問題、6/7RSウイルス、9/20横浜こどもホスピス、1/20市長の新年特集で中3までの医療費助成、出産費用助成、がん検診についてとりあげている。「Newsハーバー」では、12/6県内高校で朝食を提供する事業を取り上げている。毎年未病(ME-BYO)についても取り上げている。今年度は3/30に「働く世代の健康ライフ、未病で輝く体と人生」というテーマで放映予定。麻雀を楽しんでもらうとともに、脳トレとして実施している「いきいきマージャン教室」は好評である。 (水谷会長) 各種がん検診を引き受けて行っている。横浜市と連携して、子宮がん検診、高齢者の精密検査の補助等を行っている。市民公開講座をオンラインで行っている。「みんなの健康」の冊子を医療機関に配布しているおり、好評である。ACP(人生会議)の啓発も行っている。 (二宮委員) 乳幼児においてHPで啓発している。「めばえちゃん」というキャラクターがおり、人気がある。乳幼児期の口腔に関心を高めてもらいたい。 6月の歯と口の健康週間に合わせて市民向けのイベントを行っている。 オーラルフレイルの関心が高くなり、講演依頼が増えている。歯周病など歯と口の健康について講演依頼があれば、お声かけいただきたい。 児童虐待の早期発見、健康につながる支援を行っている。
--	--

	(瀬戸委員) 禁煙支援薬局を継続している。薬剤師が、患者の来局時に喫煙しているかを確認し、禁煙の支援、受動喫煙防止の啓発を行っている。禁煙支援薬局に関する研修を行っている。今年度は130薬局の登録がある。運動の習慣事業として、運動をしていない方へのきっかけづくりに、薬草探索健康ウォーキングを毎年開催している。今年度は旭区で開催した。市民に好評のため、継続していきたい。 薬局の健康サポート機能を生かして、フレイルチェックシート、体組成計などで健康チェックを行っている。1/30に薬剤師向けに糖尿病重症化予防の研修を行った。イエローフラッグ（災害時に開局表示）の掲示、お薬手帳の活用、学校での飲酒防止教室を行っている。 (長谷川利希子委員) 8月の健横21イベントで、ブースを出展し、栄養士会はベジチェックを行った。市大の体組成計・骨密度測定後に栄養相談を行った。他団体と連携した活動であり有意義であった。その他、横浜市健康福祉局地域包括ケア推進課との「横浜市フレイル予防取組推進における民間企業連携」の一環として、神奈川区の介護予防講演会で、栄養相談コーナーを設けてフレイル予防の食生活相談を行ったり、イオンリテールと連携し、フレイル予防レシピを考案したりしている。完成レシピを用いて店舗でのイベントにも協力する予定である。 (吉元委員) スポーツが苦手な方、馴染みのない方も一緒にできる事業を検討している。横浜マラソンの開催、多世代の方が楽しめるスポーツとして、ボッチャやパラスポーツなどのインクルーシブスポーツの体験会を行っている。多世代が同じルールで楽しめる取組である。用具の貸出なども行っている。企業とともに、フレイルの進行度を測定できるツールを用いて運動の継続につなげる取組を進めている。 (長谷委員) 6/9横浜市開港記念会館にて禁煙神奈川会議の講演会を実施した。 また、イエローグリーンキャンペーン、禁煙関連の講演会への講師派遣、加熱式タバコの対策運動、学校での教育を行っている。かながわ卒煙塾、かながわ卒煙サポートセミナー、健康チャレンジフェアかながわ等のイベントについても協力している。今年の6/7世界禁煙デー総会の準備を進めているところである。 (太田委員) 県内16万事業所、160万人が加入している。1事業所の平均従業員数は7名を下回る。広報が個人に行き届かないところがある。健康診断、保健指導、健康づくり対策に取り組んでいる。関係機関と連携し、受診率向上を行っている。扶養家族の特定健診は、がん検診を含んでいないため、骨粗しょう症検診などのオプション検査も取り入れ、充実した健診になるよう取り組んでいる。健康企業宣言に取り組む事業所に、食事・運動・飲酒等の支援を産保センターなどの関係機関と連携してフォローアップを行っている。 (佐藤委員)
--	---

	国保の受診率が低く、啓発活動を行っている。特にウェットティッシュが好評であり、今年度は倍量で対応しイベント等で配布していただいた。9区25回に健康機器の貸し出しを行った。血管年齢、骨密度の機器貸出、在宅の保健師派遣を行った。実際のデータと実機を用いてKDBの初任者と高齢者の一体的実施の研修を少人数で行った。 (堤委員) 神奈川県74健保組合が特定健診、特定保健指導の実施率を上げる、データヘルス計画を実行していくことを目指している。 2022年度、特定健診80.7%、特定保健指導35.6%であり、毎年数値があがっている。企業とのコラボレーションを後押しするため健康経営を勧めている。 かながわ健康企業宣言事業の参加企業数は令和6年度380社、健康優良企業255社であった。健康経営優良法人2025は191社(前年度より+38社)であった。 令和7年度は、女性特有の健康課題、ロコモ対策の取組を進めていく。 国の補助金を活用し、加入者のための有効な施策につなげていきたい。 (松本委員) 令和8年度からの中学校給食が始まるにあたり、試食会を行い、保護者の啓発を進めている。横浜スパイス(団体)により、子供たちが地場の食材を使ったお弁当コンクールを行っている、食に触れ、地場の食材を活用し食育を進める後援をしている。さまざまなPTA単位で、アルコール等の健康リスクのあるもの等の講演や研修を行っているものを後援している。次年度も引き続き取り組みを進めていく。 (二宮委員) 本市の特定健診、特定保健指導の受診率は、全国平均、政令市と比較しても低い状態が毎年続いている。受診率向上の取組を一緒にできるとよい。 都市部は全国平均より低い。各保険団体、メディアなど皆で取り組むことができないか。 (水谷会長) 実施率をあげることは大事である。個人に伝えることが難しい。受診対象の方が若いと、自分は大丈夫、手紙がどこかに行くなどの課題がある。受けた人が受けられないということがないように、皆様のご協力をいただきたい。 (田口委員) メディアの立場ではいかがか。 (長谷川由希委員) 周知は大事だが、切り口が難しい。ただ発信するだけでは素通りしてしまう。 (田口委員) 受けた人を取りこぼさないこと、ターゲットを明確にすることが大事である。 (水谷会長) コロナワクチンのように、受けたくない人がいる。受けたくない人が受けないのも個人的にはいいと思う。だが、先ほどのように健診を受けたいが、情報を知らない人には届いたほうがよい。健診を受けたくない人も、受けたい人が受けることに
--	---

	いていいよと言える社会を目指していけるとよい。
報告事項	(1) イベント 横浜市×横浜市立大学 「Wellness Port YOKOHAMA ～第3期健康横浜21いざ出航～」について (2) 令和6年度歯科口腔保健推進検討部会の開催状況について (3) 食育推進検討部会の開催状況及び食環境づくりに関する取組について (4) 女性の健康づくり推進検討部会の設置について (5) 令和6年度における健康経営の推進について (6) 禁煙支援・受動喫煙防止対策事業について (7) 令和6年度 広報・プロモーションの取組について
	(水谷会長) 事務局からまとめて報告を受けた。質問や意見がある委員はいるか。 女性の健康づくり検討部会に参加した長谷川委員に感想を伺いたい。 (長谷川委員) 性差に着目した取組は少ない。新たな視点として女性に力を入れていくこととなった。多彩な視点が生かされるメンバー構成となっている。大学生、子育て世代、PTA、専門家、産婦人科医、助産師、健康経営企業、市大の先生、栄養士で、委員が構成されている。世代や立場を超えたメンバーと議論が深めていけるよい。 (水谷会長) 時間が残りわずかのため、この場で意見交換の時間がとれないのは残念だが、忌憚なきご意見をメール等で、直接、事務局に言っていただけるとよい。
閉会	(事務局) 資料14をご覧ください。次回は令和7年8月下旬頃を予定している。前年度の報告と今年度の活動予定の共有を予定している。歯科部会は11月、食育部会は7月を予定している。女性の健康づくり検討部会はミッションをもって実施するため、年3回を予定している。女性の健康づくり検討部会ででた意見は、推進会議の委員と共有し、各団体の女性の取組に生かしていただきたい。また推進会議のご意見を女性の健康づくり検討部会にも反映させていただく。会議の日程は改めて連絡させていただく。 次回以降の書類の配布について、資料は事前にデータで送付、当日席に紙資料を配付させていただく。 本日はこれにて閉会とする。
資 料	資料1 健康横浜21推進会議 委員名簿 資料2 健康横浜21推進会議運営要綱 資料3 「第3期健康横浜21」主要な健康課題（中間目標）ごとのロジックモデルの作成について 資料4 「第3期健康横浜21」直接成果指標（ヒートショック関連）の一部修正について

資料 5	健康横浜 2 1 推進会議及び部会の開催回数の見直しについて
資料 6	第 3 期健康横浜 2 1 関係機関・団体情報共有シート
資料 7	Wellness Port YOKOHAMA ～第 3 期健康横浜 2 1 いざ出航～（実施報告）
資料 8	令和 6 年度歯科口腔保健推進検討部会の開催状況について
資料 9	食育推進検討部会の開催状況及び食環境づくりに関する取組について
資料 10	女性の健康づくり推進検討部会の設置について
資料 11	令和 6 年度における健康経営の推進について
資料 12	禁煙支援・受動喫煙防止対策事業について
資料 13	令和 6 年度広報・プロモーションの取組について
資料 14	健康横浜 2 1 推進会議スケジュール（予定）
資料 15-1	糖尿病等の重症化予防事業における市民向けリーフレットを活用したダイレクトメールの実施状況報告
資料 15-2	令和 5 年度「疾病の重症化予防事業」の事業効果分析結果について
資料 16	よこはまウォーキングポイント事業について
資料 17	令和 6 年度「ヒートショック予防」啓発事業における取組報告について